

学習指導要領		スタンダード「基礎」
(1) 原始・古代の日本と東アジア	<p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料</p> <p>遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p>	<p>〔歴史と資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各時代を代表する遺跡や各時代を特色付ける遺物、文献資料などから、歴史は資料から叙述されており、それが歴史を考察する基本的な方法であることを理解するとともに、文化財保護の重要性を知る。</li> </ul>
	<p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成</p> <p>旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>〔日本文化の黎明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧石器文化と縄文文化の特色を食料資源や使用した道具の違いによって区別できる。また、呪術的な風習が行われたことを知る。</li> <li>水稲耕作の開始と金属器の使用に着目し、弥生文化の特色について知る。</li> </ul> <p>〔古代国家の形成と展開、文化の特色と背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小国が形成され、互いの抗争の中で邪馬台国が統合したことを知る。</li> <li>大和政権の成立と国内統一の過程を知る。</li> <li>推古朝の政治、遣隋使の派遣や飛鳥文化の特色を知る。</li> <li>大化改新、壬申の乱を経て、律令に基づく国内統治体制が整備されたことを知る。</li> <li>平城京遷都、遣唐使、国分寺建立や藤原氏の政界進出について知る。</li> <li>天平文化の特色を知る。また、造寺・造仏や記紀の編纂が国家事業として進められたことを知る。</li> </ul>
ウ	<p>古代国家の推移と社会の変化</p> <p>東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の</p>	<p>〔古代国家の推移〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平安京遷都や東北経営の二大政策が進められたこ</li> </ul>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>〔歴史と資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料に基づいて歴史が叙述されており、それらの情報を総合し、歴史を組み立てることが歴史を考察する基本的な方法であることを理解するとともに、文化財保護の重要性を理解する。</li> </ul> <p>〔日本文化の黎明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧石器文化から縄文文化への移行を自然環境の変化に着目して理解する。また、呪術的な風習の意味を理解する。</li> <li>弥生時代の社会の変化について、墓制、集落の特色や青銅器の使用文化圏などを踏まえて理解する。</li> </ul> <p>〔古代国家の形成と展開、文化の特色と背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小国の形成や抗争の背景と邪馬台国成立に至る経緯などについて、中国文献を踏まえて理解する。</li> <li>大和政権による国内統一の過程を古墳文化の変化と関連付けて理解するとともに、古墳文化の各時期の特色を理解する。</li> <li>推古朝の改革の具体的な内容について、史料を基に理解するとともに、飛鳥文化の代表的な建築・美術作品の特色を理解する。</li> <li>大化改新から天武・持統朝までの各時期の政策に着目し、律令制度の確立過程とその統治体制の特色を理解する。</li> <li>平城京の時代を東アジア世界との交流や鎮護国家思想と関連付けて理解し、藤原氏の進出と政界の動揺について理解する。</li> <li>天平文化成立の背景や天平文化を代表する文学・建築・美術作品の特色を理解する。また、鎮護国家の思想や国家意識の高まりについて理解する。</li> </ul> <p>〔古代国家の推移〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平安京遷都や東北経営の背景や意義について理解</li> </ul>	<p>〔歴史と資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な資料を活用して歴史を考察する基本的方法を理解した上で、自らフィールドワークを実施したり、博物館・資料館などを訪問したりして、文化財保護の重要性を理解する。</li> </ul> <p>〔日本文化の黎明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧石器文化から縄文文化への移行とその違いを、自然環境の変化に着目し、具体的な遺跡や遺物について理解する。また、呪術的な風習の背景について理解する。</li> <li>弥生時代の社会の変化を大陸文化の影響と関連付けて理解する。</li> </ul> <p>〔古代国家の形成と展開、文化の特色と背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>邪馬台国の呪術的宗教的権威と政治的権威を理解するとともに、その位置をめぐる論争の意義を理解する。</li> <li>大和政権の支配体制や古墳文化の各時期の特色を大陸から渡来した人々との交流など東アジア諸国との関係に着目して理解する。</li> <li>東アジア世界の動向や国内情勢の変化を背景に推古朝の改革を理解するとともに、飛鳥文化の各作品の特色を国際的視野から理解する。</li> <li>唐の影響の下に成立した日本の律令制度は、単に模倣ではなく、日本の実情に合わせて制度化されていることを理解する。</li> <li>平城京の時代を遺跡や遺物、文献などを基に考察し、支配領域の拡大や土地支配の強化など律令制度の展開について理解する。</li> <li>天平文化の様々な文化財についての特色を国際的視野から理解する。また、鎮護国家の思想の背景や記紀などから古代の人々のものの考え方や生活を理解する。</li> </ul> <p>〔古代国家の推移〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平安初期の政治改革を律令体制の再編と変質の中</li> </ul>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
<p>(2) 中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の解釈</p> <p>歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成</p> <p>武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽<sup>ほつが</sup>について考察させる。</p>	<p>とを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂関政治全盛期の藤原道長・頼通の政治について整理し、摂関政治が藤原氏による外戚政治であることを知る。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘仁・貞観文化の特色を知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名文字による和歌や女流文学の発達、浄土教の変容や貴族の生活などから日本の風土や生活に適合した新しい貴族文化が進展したことを知る。</li> </ul> <p>〔中世社会の萌芽<sup>ほつが</sup>〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄進地系荘園の発生について知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の登場について知る。</li> </ul>
	<p>〔歴史の解釈〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な資料を活用し、「何が」「いつ」「どのように」移り変わっていったのか検討し、「なぜ」そのような出来事や変化が生じたのかを考察する。</li> </ul> <p>〔中世国家の形成過程や社会の仕組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂関政治に代わって院政が開始されたことを知る。</li> <li>・平氏政権の成立について知る。</li> <li>・源平の争乱と鎌倉幕府の成立について知る。</li> <li>・北条氏の台頭と執権政治について知る。</li> <li>・武士社会における御成敗式目の制定、惣領制について知る。</li> </ul>	

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤原北家発展の具体的経緯と摂関政治の仕組みについて理解する。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘仁・貞観文化を代表する作品の特色を理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国風文化成立の背景を理解し、国風文化を代表する文学・建築・美術作品の特色を理解する。</li> </ul> <p>〔中世社会の萌芽<sup>ほつが</sup>〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期荘園から寄進地系荘園成立に至る荘園支配の動向について理解する。</li> <li>・武士団の成長と地方の反乱について理解する。</li> </ul> <p>〔歴史の解釈〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な諸資料を活用し、歴史的事象の推移や変化、因果関係を考察して、諸事象の意味や意義を明らかにし、大きな歴史の展開に位置付けて理解する。</li> </ul> <p>〔中世国家の形成過程や社会の仕組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院政の機構など専制的な政治体制などの特色を理解する。</li> <li>・武士の中央進出の経緯と平氏政権の成立について理解する。</li> <li>・源平の争乱の推移、鎌倉幕府の支配機構と封建制度について理解する。</li> <li>・北条氏台頭の経緯、承久の乱の背景、執権政治の特色について理解する。</li> <li>・御成敗式目の道理を理解する。また、惣領制を中心とした武士の生活について理解する。</li> </ul>	<p>に位置付けて捉え理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂関政治が古代社会が大きく転換する中でとられた政治形態であったことを理解する。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘仁・貞観文化を東アジア世界との交流や貴族社会と関連付けて理解する。</li> <li>・国風文化が成立する背景について、東アジア世界との関係の変化、浄土教と末法思想の広まり、貴族社会の変質などと関連付けて理解する。</li> </ul> <p>〔中世社会の萌芽<sup>ほつが</sup>〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期荘園が律令制支配と矛盾し拡大を遂げる中で、公領の土地政策の転換や寄進地系荘園の発達について、地方政治と関連付けて理解する。</li> <li>・律令の軍制などの変質や地方政治の矛盾と関連付けて、武士の成長について理解する。</li> </ul> <p>〔歴史の解釈〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸資料を一つ一つ深く読み込んで歴史を考察し、歴史的事象の推移や変化、因果関係を考察して、歴史的諸事象の意味や意義を解釈し解明できるとともに、大きな歴史の展開に位置付けて理解する。</li> </ul> <p>〔中世国家の形成過程や社会の仕組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院近臣や武士が国家の中で占める力を強め、平氏政権や内乱を通じ、中世的な国家が確立する条件が生まれたことを理解する。</li> <li>・平氏政権が短命であったことについて、その性格を踏まえて理解する。</li> <li>・鎌倉幕府の成立を社会の仕組みや公武関係の変化の中でとらえ、支配機構や土地制度の変遷を理解する。</li> <li>・朝幕関係の二元的支配の状況が大きく変わり、朝廷に対する幕府優位の関係が生まれたことを理解する。</li> <li>・武士の土地支配の拡大などについて、その背景や意義を公武関係の変化の中で多面的に理解する。</li> </ul>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒙古襲来と御家人の窮乏について知る。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院政期に新たな文化が芽生えたことを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新仏教が成立したことを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大陸伝来の新技術、武士や庶民を題材にした文学や絵巻物が作成されたことを知る。</li> </ul> <p>〔中世社会の多様な展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建武の新政と南北朝動乱について知る。</li> <li>・守護大名の登場と室町幕府の成立について知る。</li> <li>・応仁の乱後、下剋上の風潮の中で戦国大名が生まれたことを知る。</li> <li>・勘合貿易の内容について知る。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸産業と流通や地域経済が発達したことを知る。</li> <li>・南北朝文化・北山文化・東山文化の特色を知る。</li> <li>・文化の地方普及と都市の形成について知る。</li> </ul>
(3)	<p>近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の説明</p> <p>歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえ</p>	<p>〔歴史の説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを、それぞれの解釈を述べた書物・論文などを読</li> </ul>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア世界の動向から見た蒙古襲来の意義、得宗専制政治確立の背景、永仁の徳政令発布の目的などについて理解する。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院政期の文化を代表する文学・建築・美術作品の特色を理解する。</li> <li>・新仏教各宗派の違いについて理解する。</li> <li>・鎌倉文化の代表的な文学・建築・美術作品の特色を理解する。</li> </ul> <p>〔中世社会の多様な展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建武の新政の内容とその特色、南北朝動乱の経緯について理解する。</li> <li>・守護大名による土地侵略と室町幕府の支配機構を理解する。</li> <li>・応仁の乱の原因と影響について理解する。また、代表的な戦国大名が登場する経緯や分国法・城下町を理解する。</li> <li>・勘合貿易の推移と幕府が勘合貿易に積極的であった理由について理解する。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産力向上の諸相や商品経済の発展などを理解する。</li> <li>・各文化が成立した時代背景と代表的な文学・建築・美術作品の特色を理解する。</li> <li>・文化の地方普及の背景と地域の特色について理解する。また、各地で発達する様々な都市の形態について理解する。</li> </ul> <p>〔歴史の説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを理解し、それぞれの論拠となる資料や論理を比</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒙古襲来から幕府衰亡への経緯を理解し、蒙古襲来や宋・元など東アジア世界との交流が社会・経済・文化に及ぼした影響を理解する。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院政期の文化が成立する背景について、武士や庶民の台頭、地方文化の進展と関連付けて理解する。</li> <li>・新仏教誕生や旧仏教の革新に見られる多様な動きの社会的・思想的な意義やその影響を理解する。</li> <li>・芸術全般にわたる新傾向出現の背景を、東アジアとの交流や武士社会の発展などと関連付けて理解する。</li> </ul> <p>〔中世社会の多様な展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建武の新政の問題点、南北朝動乱の長期化の理由などについて理解する。</li> <li>・守護大名と幕府との関係などを踏まえ、室町幕府の支配機構の特色を理解する。</li> <li>・応仁の乱の意義を理解するとともに、戦国大名による分国支配の特色について理解する。</li> <li>・東アジアとの交易について、アイヌ社会とのかかわりや琉球の中継貿易、明・朝鮮との様々な形での交流などを踏まえて理解する。</li> </ul> <p>〔文化の特色とその成立の背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸産業の発達により庶民が台頭し、地域的な要素が強まり、自治的な惣村の形成や一揆の組織が成立したことを理解する。</li> <li>・各文化が成立した時代背景を理解し、武家文化と公家文化の関連性並びに庶民文化の萌芽を理解する。</li> <li>・地方文化の諸相を京都の文化との関係や庶民の台頭と関連付けて理解する。また、古代・近世の都市と比較し、中世都市の特色を理解する。</li> </ul> <p>〔歴史の説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを理解し、それぞれの論拠としている史料などを</li> </ul>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
本 と 世 界	て、筋道立てて考えを説明させる。	み理解する。
	イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。	〔近代国家の形成とその特色や社会の仕組み〕 ・織豊政権の統一事業の過程での代表的な戦いや、検地・刀狩などの国内政策や外交政策について知る。 ・桃山文化の特色を知る。  ・江戸時代に全国支配を行ったのは、徳川將軍を中心とした江戸幕府であることを知る。 ・鎖国はどのような体制であったかを知る。
	ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。	〔産業経済の発展や文化の特色〕 ・元禄時代の政治や正徳の治の代表的な政策を知る。 ・農業中心に経済が発展し、交通や貨幣制度が整備されたことを知る。  ・元禄文化の特色を知る。  ・享保の改革や田沼政治の代表的な政策を知る。  ・宝暦・天明期の文化の特色を知る。  〔幕藩体制の変容と近代化の基盤形成〕 ・寛政の改革や天保の改革の代表的な政策を知る。  ・列強の接近が幕府を中心とした国内の支配体制を脅かしたことを知る。 ・改革に成功した薩摩藩・長州藩などの雄藩の台頭について知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
較・検証して、それぞれの歴史的解釈を筋道立てて説明することができる。	比較・検証し、それぞれの歴史的解釈を筋道立てて理解するとともに、自らの史料読解や史料批判を行い、自分の論理を組み立てて歴史解釈を行い、説明することができる。
〔近代国家の形成とその特色や社会の仕組み〕 ・ヨーロッパ世界との接触とその影響や東アジアにおける国際関係も視野に入れて、織豊政権の特色を理解する。 ・桃山文化の建築・絵画・芸能などの特色を理解し、代表的な作品について理解する。  ・幕藩の支配機構、農村支配、経済的基盤、身分制度などの全国支配の仕組みを理解する。 ・鎖国体制に至る過程や鎖国下で交流のあった国や地域との関係を知り、鎖国の影響を理解する。	〔近代国家の形成とその特色や社会の仕組み〕 ・兵農分離政策や身分制度の形成など織豊政権が近世の政治・経済や社会の基盤形成に果たした意義を理解する。 ・桃山文化以前の文化の担い手と比較して国際色豊かな文化で、生活文化として定着し後世まで残ったものであることを理解する。 ・幕藩体制の確立によって成立した近世社会の特色について、世界の動向と関連付けて理解する。 ・鎖国体制に至る過程やその影響を理解し、更に鎖国下でも関係のあった国や地域との交流の特色とその歴史的意義を理解する。
〔産業経済の発展や文化の特色〕 ・元禄時代や正徳の治の担い手と具体的な政策を理解する。 ・国内経済発展の背景として、農業・商業の活発化、交通の整備、貨幣制度の確立などについて理解する。 ・元禄文化の学問・文学・美術などの特色を理解し、代表的な作品について理解する。  ・享保の改革や田沼政治の担い手と、具体的な政策を理解する。 ・宝暦・天明期にどのような種類の学問・文学・絵画が発展したかを理解し、代表的な作品について理解する。  〔幕藩体制の変容と近代化の基盤形成〕 ・寛政の改革や天保の改革の担い手と具体的な政策とそれが失敗に終わったことを理解する。  ・列強の接近の代表的事例を知り、鎖国体制の動揺を招いたことを理解する。 ・薩摩藩や長州藩の藩政改革の特色を知り、雄藩の台頭について理解する。	〔産業経済の発展や文化の特色〕 ・元禄時代や正徳の治の具体的な政策を、幕藩体制の安定を背景に理解する。 ・農業・商業の発展や陸上交通・海運の整備、貨幣制度などの具体的な発展とその特色を理解する。  ・元禄文化について、学問・文学・美術などについて、具体的な作品や作者を挙げ、時代背景とともにその特色を理解する。 ・享保の改革や田沼政治の具体的な政策を、時代背景や歴史的意義とともに理解する。 ・宝暦・天明期の文化について、学問・文学・美術など具体的な作品や作者を挙げ、時代背景とともにその特色を理解する。  〔幕藩体制の変容と近代化の基盤形成〕 ・寛政の改革や天保の改革の具体的な政策を、時代背景や幕政衰退の原因と関連させながら理解する。 ・列強の接近の具体的な事例を理解し、鎖国体制や幕藩体制の衰退につながったことを理解する。 ・薩摩藩や長州藩を中心とする雄藩の具体的な改革を理解し、雄藩の台頭を近代へのつながりとともに

学習指導要領		スタンダード「基礎」
(4) 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化政文化の特色を知る。</li> </ul>	
	〔開国と幕府の滅亡〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペリー来航と日米和親条約調印により、幕府が鎖国政策を改めたことを知る。</li> <li>・日米修好通商条約が不平等条約であったことを具体的な内容を通して知る。</li> <li>・開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。</li> <li>・徳川慶喜が、大政奉還を願い出たことを知る。</li> </ul> 〔明治新政府の近代化の推進過程〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新政府が五箇条の御誓文、五榜の掲示を出したことを知る。</li> <li>・廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などについて、それぞれの内容とその目的について知る。</li> </ul> 〔文明開化〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。</li> <li>・朝鮮、琉球や樺太千島など領土を画定していったことを知る。</li> </ul> 〔自由民権運動と立憲体制の成立〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不平士族の反乱が自由民権運動につながっていったことを知る。</li> <li>・大日本帝国憲法の制定及び内容について知る。</li> </ul> 〔条約改正〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不平等条約改正の課題を理解し、交渉の経過を知る。</li> </ul>	
イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国	〔日清・日露戦争とその前後のアジア〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝鮮の支配権をめくり清と対立し、日清戦争が始まったことを知る。</li> </ul>	

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・化政文化について、どのような種類の学問や美術・絵画が発展したか理解する。</li> </ul>	に理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・化政文化について、学問・文学・絵画など具体的な作品や作者を挙げることができ、時代背景とともに文化の特色を理解する。</li> </ul>
〔開国と幕府の滅亡〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペリー来航の背景と、日米和親条約調印により幕府が鎖国政策から転換したことの意味を理解する。</li> <li>・通商条約調印の経過を理解するとともに、貿易の特色と国内の社会・経済に与えた影響を理解する。</li> <li>・尊王攘夷派と公武合体派との対立の原因や主導勢力について理解する。</li> <li>・大政奉還が出されたあとの対抗する勢力の動きを理解する</li> </ul> 〔明治新政府の近代化の推進過程〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・五箇条の御誓文と五榜の掲示が出された目的について理解する。</li> <li>・廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などの諸改革について、その後の影響を理解する。</li> </ul> 〔文明開化〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文明開化が我が国の伝統的な文化を相対化する動きを伴いつつ、人々に与えた影響について理解する。</li> <li>・領土画定の経緯について、具体的な条約などを踏まえて理解する。</li> </ul> 〔自由民権運動と立憲体制の成立〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の間に政治的関心が高揚し、自由民権運動が展開していったことを理解する。</li> <li>・大日本帝国憲法の成立過程と、この憲法の特色について理解する。</li> </ul> 〔条約改正〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・条約改正の具体的な交渉内容について理解する。</li> </ul>	〔開国と幕府の滅亡〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開国により幕政の在り方が変化し、朝廷権威が高まったことと我が国が国際社会の枠組みに組み込まれたことを理解する。</li> <li>・通商条約調印が、明治維新後の新政府にとって大きな課題となったことを理解する。</li> <li>・公武合体派が政局の主導権を握っていく過程と倒幕運動の展開について理解する。</li> <li>・徳川慶喜が、目指した政権構想について理解する。</li> </ul> 〔明治新政府の近代化の推進過程〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・五箇条の御誓文と五榜の掲示の性格について理解する。</li> <li>・諸改革や富国強兵・殖産興業などの政策により中央集権的な近代国家の基礎が形成されたことを理解する。</li> </ul> 〔文明開化〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文明開化が政府主導の近代化政策であり、欧米諸国と対等の地位へ引き上げようとするものであったことを理解する。</li> <li>・朝鮮など近隣アジア諸国に対して、欧米諸国と同じような姿勢をとったことを理解する。</li> </ul> 〔自由民権運動と立憲体制の成立〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由民権運動の経過、立憲政治確立までの政府の政策とその結果について理解する。</li> <li>・大日本帝国憲法が欧米以外では唯一の憲法であったことの意義を理解する。</li> </ul> 〔条約改正〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・条約改正交渉の成否の背景に、国内の法体制の整備、国際関係の変化があったことを理解する。</li> </ul>
〔日清・日露戦争とその前後のアジア〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争をめぐる国際情勢について理解する。</li> </ul>	〔日清・日露戦争とその前後のアジア〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争後の東アジア情勢を把握するとともに、それが日露戦争へつながっていったことを理解</li> </ul>

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争を機に初の政党内閣が成立したことを知る。</li> <li>・列強の中国分割が進行し、ロシアが満州と韓国に勢力を拡大する中で、日本がイギリスと同盟を結んだことで日露戦争が不可避となったことを知る。</li> <li>・日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通して、植民地支配を進めたことを知る。</li> </ul> <p>〔近代産業の発展〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の産業革命の主役となったのは紡績業と製糸業であり、日清・日露戦争を通して重工業が発展していくことを知る。</li> </ul> <p>〔近代文化の特色〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学の分野において、世界的な業績を挙げたことを知る。</li> <li>・明治時代の思想界の動向について知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治期の文学や芸術の大きな流れについて知る。</li> </ul>
<p>(5) 近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>〔政党政治の発展〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次護憲運動によって内閣が倒されたことを知る。</li> <li>・ロシア革命とシベリア出兵、米騒動との関係について知る。</li> <li>・初の本格的な政党内閣が組織されたことを知る。</li> <li>・第二次護憲運動の結果、護憲三派内閣が成立し、以後、政党内閣が続いたことを知る。</li> <li>・社会主義運動、労働運動、農民運動、部落解放運動、女性の地位向上を目指す運動などの動向を知る。</li> </ul>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初の政党内閣の成立に対する政府・元老の具体的な対応と、その後の政治状況への影響を理解する。</li> <li>・日露戦争について、日清戦争と対比して戦争の規模、経過、国内の世論、国際的な動向などを理解する。</li> <li>・植民地支配の過程を、アメリカ・イギリス・ロシアなど列強との関係を踏まえながら理解する。</li> </ul> <p>〔近代産業の発展〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の急速な発展によって我が国の資本主義が確立する一方、公害問題や労働問題が発生し、社会運動が起こったことを理解する。</li> </ul> <p>〔近代文化の特色〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学分野における主な業績について理解する。</li> <li>・代表的な啓蒙思想家について知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代文学と明治美術界の代表的作家と作品について知る。</li> </ul> <p>〔政党政治の発展〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民衆の政治意識が高まり、一つの政治勢力にまで成長したことを理解する。</li> <li>・民衆は排外主義にとらわれず自らの生活を優先させ、日比谷焼き打ち事件と比較して民衆意識が成長したことを理解する。</li> <li>・原内閣成立の背景と意義、その政策について理解する。</li> <li>・護憲三派内閣が普通選挙法と治安維持法を抱き合わせで成立させた意味を理解する。</li> <li>・各運動に参加した国民各層にどのような政治・経済上の主張や要求があったのかを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藩閥政府と民党という対立軸が無くなり、政党の官僚化、官僚の政党化が進んだことを理解する。</li> <li>・日比谷焼き打ち事件以後、民衆の政治意識が高揚していったことを理解する。また、日露戦争の勝利がアジア諸民族の独立や近代化に刺激を与えたことを理解する。</li> <li>・韓国併合後の朝鮮と日本社会の変化について理解する。</li> </ul> <p>〔近代産業の発展〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業発展の背景に、近世以来の教育の普及と就学率の高さがあつたことを理解する。</li> </ul> <p>〔近代文化の特色〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富国強兵、殖産興業の政策上から科学技術の移植と研究が進められたことを理解する。</li> <li>・思想界の動向について、日清戦争や日露戦争などの社会情勢と関係付けて理解する。</li> <li>・教育の普及や交通・通信・出版の発達によって国民生活が変化し、国民自身の手による近代化が進んだことを理解する。</li> </ul> <p>〔政党政治の発展〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・護憲運動以後の内閣は、民衆の動向に細心の注意を払って対応していかねばならなくなったことを理解する。</li> <li>・政治の民主化を求める国民の声は、大正デモクラシーの思潮を生み、政党政治の発展を可能にしたことを理解する。</li> <li>・普通選挙法への対応などから原内閣の性格について理解する。</li> <li>・第一次護憲運動と第二次護憲運動の違いについて理解する。また、二大政党による政党内閣制の意義について理解する。</li> <li>・社会運動の発展には、第一次世界大戦やロシア革命という国際的な影響もあつたことを理解する。</li> </ul>

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p> <p>ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p>	<p>る。</p> <p>〔大衆社会の形成〕 ・教育が普及するとともに、都市化と大衆化が進み、ラジオや映画や雑誌などの大衆文化が誕生したことを知る。</p> <p>〔第一次世界大戦前後の対外政策の推移〕 ・第一次世界大戦以前の国際関係・戦禍や影響を知るとともに、日本が三国同盟を理由に宣戦布告したことを知る。 ・パリ講和会議とワシントン会議及び幣原外交について知る。また、五・四運動、三・一独立運動について知る。</p> <p>〔国内の経済・社会に及ぼした影響〕 ・大戦景気とそれによる社会・産業構造の変化について知る。</p> <p>〔対外政策の推移〕 ・世界恐慌の発生やその対応策について知る。</p> <p>・国際社会の中の全体主義の台頭・民族運動の進展について知る。</p> <p>・国家主義の台頭による軍部の政界への進出について知る。 ・金融恐慌から昭和恐慌に至る経緯について知る。</p> <p>・日本の対外政策について知る。</p> <p>〔戦時体制の強化と第二次世界大戦〕 ・中国との戦争の経緯について知る。</p> <p>・全体主義的な国家体制が進展し、英米等との戦争に拡大していったことを知る。</p>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>〔大衆社会の形成〕 ・都市化と工業化の進展で大衆社会が形成されたことについて、具体的な事例を挙げて理解する。</p> <p>〔第一次世界大戦前後の対外政策の推移〕 ・第一次世界大戦への日本参戦の背景と二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを理解する。 ・ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制がとられる中で日本の立場や対外政策の変化について理解する。</p> <p>〔国内の経済・社会に及ぼした影響〕 ・大戦景気と国内経済・社会に生じた具体的な変化を理解する。</p> <p>〔対外政策の推移〕 ・世界恐慌の発生やその対応策としての保護貿易主義の広がりなど、世界経済の動きを理解する。</p> <p>・全体主義の台頭による国際関係の変化や中国などにおける民族運動の進展を理解する。</p> <p>・どのように軍部が政治的に進出したかを理解する。 ・金融恐慌や昭和恐慌の背景と経緯及び影響について理解する。 ・具体的な対外政策の推移について理解する。</p> <p>〔戦時体制の強化と第二次世界大戦〕 ・中国との戦争が長期化した背景を理解する。</p> <p>・戦場となった地域や戦争相手国の動向を踏まえて、第二次世界大戦の背景やその経過を理解する。</p>	<p>〔大衆社会の形成〕 ・国内の地位的な経済格差が問題となり、二重構造となっていたことを理解する。</p> <p>〔第一次世界大戦前後の対外政策の推移〕 ・二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを欧米諸国や社会主義国との関係を踏まえて理解する。 ・ヴェルサイユ体制下における五・四運動と三・一独立運動について、その後のワシントン体制下の日本の協調外交の展開を関連付けて理解する。</p> <p>〔国内の経済・社会に及ぼした影響〕 ・大戦景気により日本の独占資本主義が確立し、財閥による金融・産業支配が確立したことを理解する。</p> <p>〔対外政策の推移〕 ・世界恐慌の発生やその対応策としての保護貿易主義の広がりという世界経済の構造的な変化の中で、日本はどのような対応をしたのかを理解する。 ・全体主義の台頭による国際社会の変化や中国などにおける民族主義の進展と日本とのかかわりを理解する。 ・軍部の政治的な進出の影響について理解する。</p> <p>・金融恐慌や昭和恐慌に対する経済政策と政治・経済・外交に与えた影響について理解する。 ・対外政策の推移を国内の政治・経済状況や国際環境と関連付けて理解する。</p> <p>〔戦時体制の強化と第二次世界大戦〕 ・戦争の長期化による外交関係の変化、国内経済や国民生活への影響、学問・思想・教育などへの統制について理解する。 ・日本の敗戦に至る過程をたどりながら、国内外の戦争の悲惨さを連合国側の動向も踏まえて理解する。</p>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
(6) 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。 ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。  イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。  ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	〔我が国の再出発〕 ・GHQによる間接統治と実質的なアメリカ単独占領などについて知る。 ・連合国の占領政策が途中で転換したことを知る。  ・日本国憲法の内容と特色について知る。  ・サンフランシスコ平和条約によって日本が独立し、日米安全保障条約の締結により日米安保体制が築かれたことを知る。 〔政治や対外関係の推移〕 ・日ソ共同宣言、国際連合への加盟、日韓基本条約、沖縄返還、日中国交回復など独立後の日本の外交政策について知る。 ・日本が行っているODA、PKOなどの国際貢献について知る。	
	〔日本経済の発展と国民生活の変化〕 ・戦後の経済復興の過程を知る。  ・高度経済成長、石油危機を経て世界有数の経済大国となった経緯を知る。 ・消費生活の拡大、自動車の普及、核家族化などによる家庭生活の変化や教育水準の向上・科学技術の発達に伴う生活水準の向上などにより、国民生活はどのように変貌したかを知る。	
	〔歴史の論述〕 ・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を活用しながら自分なりの解答を文章で表現できる。	

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
〔我が国の再出発〕 ・連合国による日本占領の特色と当初の占領方針の非軍事化と民主化の諸政策の内容を理解する。 ・占領政策の転換を東アジア情勢やアメリカの対世界政策の転換を踏まえて理解する。  ・日本国憲法制定の成立過程を整理し、その意義を理解する。  ・サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の内容と特色及び日本の独立の意義について理解する。 〔政治や対外関係の推移〕 ・多極化する国際情勢の変化がアジアに緊張をもたらし、日本の政治・外交に大きな影響を及ぼしたこと理解する。 ・冷戦終結、グローバル化の進展など国際環境の変化などを理解し、日本が国際社会において重要な役割を果たしていることを理解する。	〔我が国の再出発〕 ・初期の占領方針である非軍事化と民主化の諸政策を、当時の国内外の情勢と関連付けて理解する。 ・占領政策がどのように変わったのかを、再軍備と経済自立の視点から日本の位置付けを踏まえて理解する。 ・GHQ及び日本政府の方針を対比するとともに条文の内容を大日本帝国憲法と比較し、特色と意義を理解する。また、日本国憲法に基づいて行われた国家組織、法律体系などについて理解する。 ・日本の独立と日米安保体制の意義を冷戦や朝鮮戦争などの国際情勢や日本の地理的条件と関連付けて理解する。 〔政治や対外関係の推移〕 ・日本が国際社会に復帰したことの意義及び日本が国際社会において果たすべき役割を、国際情勢と関連付けて理解する。 ・環境問題、資源・エネルギー問題などのような国家の枠を越えた課題について、国際環境の動向や地理的条件とかがわからせて理解する。
〔日本経済の発展と国民生活の変化〕 ・財閥解体・農地改革、経済復興の過程を連合国の対日政策とのかかわりから理解する。  ・高度経済成長が可能となった歴史的・社会的条件について理解する。 ・科学技術の発達に伴う生活水準の向上とともに公害の発生などの社会問題が表面化したことを理解する。	〔日本経済の発展と国民生活の変化〕 ・日本の経済安定策と朝鮮戦争に伴う特需景気により日本経済再建の基礎が築かれたことを、当時の国際情勢と関連付けて理解する。 ・日本経済の高度成長による国際的地位の向上と外交問題などを関連付けて理解する。 ・国民生活が多様化する中で、生活意識や価値観の変化が生じたことを理解する。
〔歴史の論述〕 ・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を多角的・多面的に考察し、自分なりの解答をレポートなどにまとめ	〔歴史の論述〕 ・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を多角的・多面的に考察し、自分なりの解答をレポートなどにまとめ

学習指導要領	スタンダード「基礎」

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
ることができる。	るとともに、他の生徒と意見交換や討論を行い、歴史認識を深めることができる。